

プロジェクトアドベンチャー（PA）

プロジェクトアドベンチャーについて

プロジェクトアドベンチャー（以下PA）は、アメリカで開発された、冒険を身近に感じることができる体験学習プログラムです。冒険といっても、孤島、ジャングルといった特殊な環境に身を置くのではなく、冒険と感じられる環境を作り出しながら活動を進めていきます。

たとえば、発表しようかどうか迷う中で一歩踏み出して発表することも人によっては冒険といえます。また、新しい何かに取り組もうとする姿勢も冒険ととらえることができます。時には、挑戦をあきらめる判断も冒険になり得ます。

こうした冒険には、自他を尊重したり思いやりしたりしていこうとする心の揺れ動きが必ずあります。この心の揺れ動きを「心の冒険」ととらえ、他と協力し合いながら「信頼関係」を築いたり「達成感」を味わったりしながら、心の育成を図る活動がPAです。

■活動場所と所要時間

- レクレーションホール、研修室、所周辺 他 2時間～
- ・教育プログラムです。内容や時間につきましてはご相談ください。

■持ち物

- 特にありませんが、暑い時期には飲料水などの飲み物や帽子、タオルなどをご持参ください。
- ・救急箱は各団体でご準備ください。

■活動の実際

①担当スタッフの説明（約束の確認）

- ・スタッフが、PAの進め方や約束（注意事項）等について確認します。

【PAの約束】

・フルバリュー コントラクト

「お互いの人格を最大限に尊重する」という約束事を活動中に意識させます。そして、お互いの努力やよさを最大限に評価します。

・チャレンジ バイ チョイス

PAプログラムには「強制」はありません。挑戦レベルと方法はその人自身が決定します。外部からの脅迫観念を排除することで自己決定の場を保証し、それをお互いが尊重し合うことで、「心の安全」を図ります。活動に挑戦しない場合でも、仲間を安全面で支援するなど、何らかの形で参加することは必要です。

②プロジェクトアドベンチャー開始

- ・スタッフのコーディネートによって活動を進めます。
- ・必ず各グループに1名は引率の方についていただき、活動の様子を見守っていただきます。

③活動の振り返り（終了）

- ・感じたことや気づいたこと、学んだことを発表し合い、活動を振り返ります。
- ・その時間で完結するわけではなく、体験学習が実社会（学校生活や職場や家庭や地域）に生かされるようにしていくことが求められます。

■活動にあたって

- 1グループ15人～20人を目安にグループ編成をしていただきます。

（30人の集団→1グループ15人の2グループに分かれて実施）

その際は、活動のねらいや団体の実態に合わせて、「男女混合」「男女別」「クラス単位」「クラス混合」等に編成願います。

※同じ時間帯に行うことができるのは他団体を含めて3グループまでです。

- 何年生でも実施可能です。発達段階や集団に応じたレベルを設定し活動します。（エレメントを使用する場合は、小学校高学年以上が望ましい。）

- 2時間の活動時間が目安です。1～1.5時間程度の場合でも対応しますが、PA本来のねらいに達しにくくなることをご承知おきください。

- 必ず各グループに1名は引率の方についていただきます。基本的には個人やグループの活動を見守っていただきます。場合によっては活動の中に入

られても構いません。また、活動途中での体調不良等への対応をお願いします。

■事前打ち合わせ会で

- 実施団体が重なり合う場合は、団体間で話し合いの上、期日や時間、グループ数等を調整していただきます。（スタッフにご相談ください。）
- P Aを実施される団体はP A計画書に必要事項をご記入ください。また、活動を進めるにあたって配慮が必要と思われることがありましたら、必ずご記入ください。